

第10回気象サイエンスカフェin名古屋

[日時] 2016年2月6日(土) 17:30~19:00 (受付開始17:00から)

[会場] 名古屋市科学館ミュージアムカフェ&レストラン
(地下鉄「伏見」下車4.5番出口より南に徒歩5分)

[主催] (公社)日本気象学会中部支部
(一社)日本気象予報士会東海支部
名古屋市科学館

**[テーマ] 南極の環境と気象
～なぜ南極なのか**

[スピーカー] 名古屋市科学館学芸員

おじお
小塩哲朗 さん

[開催主旨]

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。「気象サイエンスカフェin名古屋」は昨年10月に開催後今回が10回目となります。

[内容の説明]

小惑星を目指し宇宙に行く探査機や、数千メートルの深海を探索できる有人潜水艇の時代にあっても、南極はいまだに科学のフロンティア(最前線)です。地球という惑星において、極地は特別な場所であり、とりわけ近年では地球温暖化をはじめとする環境に関わる研究の場としては、地球上では唯一無二と言っても過言ではありません。このサイエンスカフェでは、講師の南極観測隊の体験談を交えながら、環境や気象の側面から見た南極という場所について、皆様とお話したいと考えています。

[申込要領]

参加費 1000円(ソフトドリンク&スナック付き)

定員 40名(先着順)

対象 中学生以上(中学生は保護者同伴)

申し込み期限 2016年2月5日(金)

お申し込みは、メールにてお願いします。

midori-i@zk9.so-net.ne.jp (日本気象予報士会東海支部 岩田あて)、件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、電話番号、所属(気象予報士会会員、大学生、自治体、会社員等)を記入。複数名の場合は、代表者の情報に加え参加人数をご記入下さい。

(お申し込み時に記入された個人情報はサイエンスカフェ参加の連絡以外には使用しません。)

[スピーカー(小塩さん)のプロフィール]

名古屋生まれ。大学院では大気物理学(エアロゾル)を専攻。平成7(1995)年から名古屋市科学館学芸課学芸員。専門は気象学、情報科学。

名古屋市科学館展覧会の企画・運営の他、環境に関する展示や、マイナス30度を体験しながら極地について学べる大型展示「極寒ラボ」の企画制作を担当。平成26(2014)年11月から平成27(2015)年3月まで、第56次日本南極地域観測隊に夏隊気水圏隊員として参加。

